

第6学年 国語科「作品の主題を考えよう」

本単元で育成したい言語能力

自分の考えと他者の考えを比較し、共通点や相違点を見付ける力

設定した言語活動

作品の主題を捉え、考えを共有する活動

視点1 主体的に学ぶための工夫

手立て レベルアップ教材の活用

・単元を通して「主題を考える」という課題意識をもち、第2次でレベル1の教材、レベル2の教材、そして第3次でレベル3の教材『きつねの窓』を読むという単元の構成とすることで、学びを次に生かせそうという可能性の見通しをもてるようにした。

・第2次での『スイミー』『かべの向こうになにがある?』の学習を生かして、『きつねの窓』の主題を読み取ることができた児童が見られた。ノートを読み返したり話合いの中で確認したりしていた。

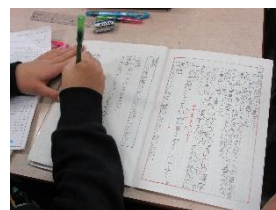


視点3 学びを深めるための工夫

手立て 3つのシンカ～新加 進化 深化～

・『きつねの窓』の感想や主題について、自分の考えを書く活動を3回とすることで、学習を通じた自己の考えの広がりや深まりを実感できるようにした。

・「読み始めたころと比べてどう?」と問うと、ほとんどの児童が「自分にとってのぴったりの主題を見付けることができるようになった。」と答えていた。初発の感想と、最後に書いた作品の主題を比べて学びの深まりを実感していた。



指導講評

- レベルアップ教材を使うことで児童の思考のスマールステップになっていた。
- 他者の考えの根拠を考える場面があると、自分自身の考えの広まりが実感できるのではないか。

成果と課題

- 中心教材と似た特徴をもつ教材を第2次で扱うことで、全員が目標に達する手立てとなった。
- 同形態の学習活動を複数回行うことで、学びの深まりを実感することができた。
- 単元計画を立てるときは、児童の活動が十分に確保できるように配慮すると無理がない。